平成8年2月27日第三種郵便物認可　1998年7月24日発行
第4巻第15号通巻73号

隔月刊化1周年記念特別企画!! 付録CD-ROM2枚組

電撃プレイステーション PlayStation D8

Vol.77
7/24増刊号

定価 980 YEN

特別付録CD-ROM付き

DISC 1

体験版6タイトル
+ムービー4タイトル

体験版

お嬢様特急

真夏の15日間を特急ヴェガに乗って旅する注目の恋愛AVG

電撃コンストラクション 落ちゲーやろうぜ!

トラップガンナー
Tから始まる物語
スターライトスクランブル
恋愛候補生
まわってムーチョ!

ムービー

スターオーシャン セカンドストーリー

serial experiment lain
エーベルージュ スペシャル
玉繭物語

スペシャルセーブデータ

グランツーリスモ
クロックタワー
ゴーストヘッド
闘魂烈伝3
ほか

DPS-Dオリジナル

超難解クイズ
読者参加小説
電球ゲーム
15パズル

隔月刊化1周年記念企画

大読者プレゼント

DISC 2

「やるドラ」
スペシャルディスク

体験版

ダブルキャスト

この夏、SCEIが贈るノンストップ
AVG「やるドラ」シリーズ第1弾!!

ムービー

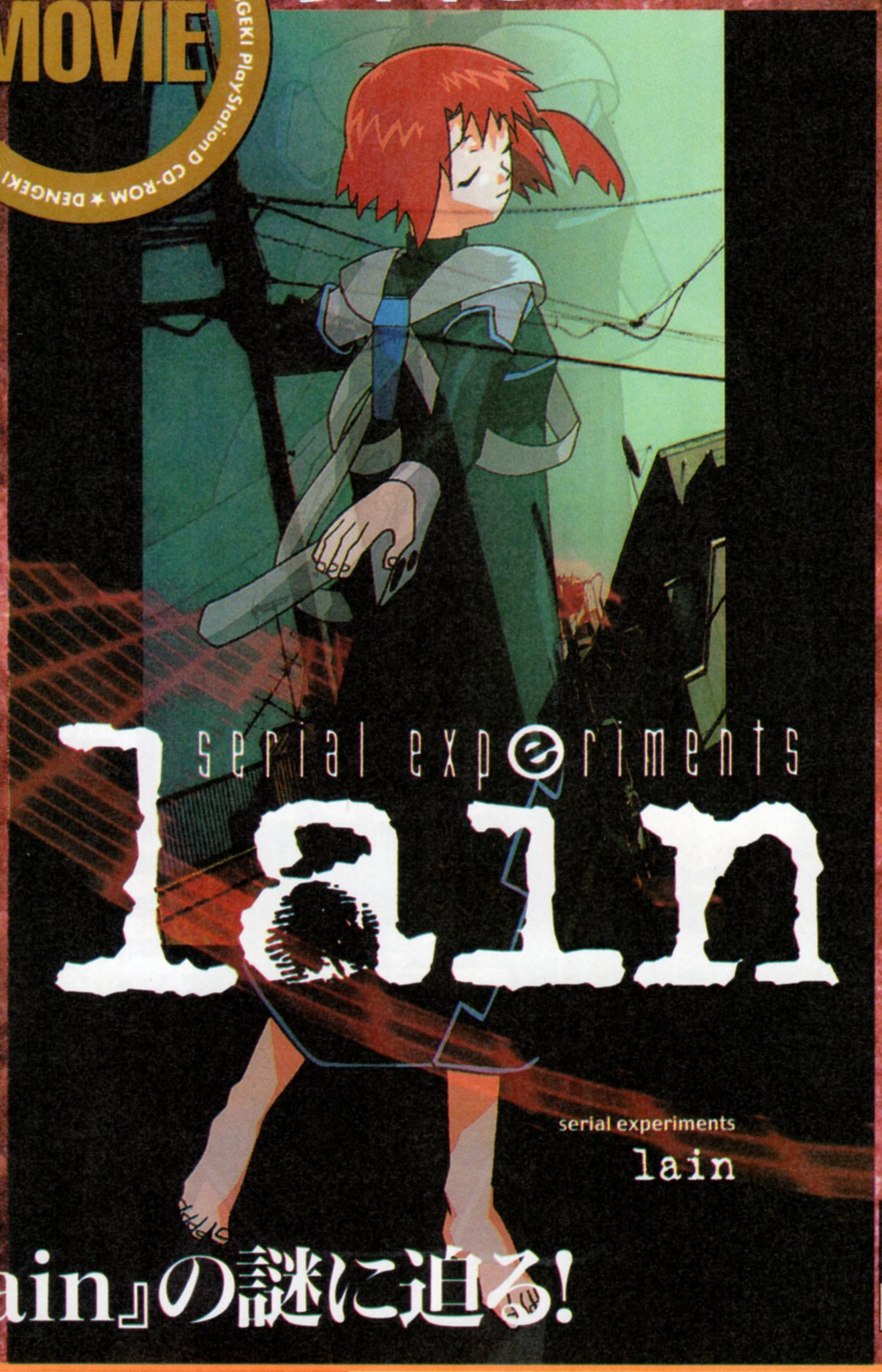
季節を抱きしめて
サンパギータ
雪割りの花

なんと

CD-ROMが2枚組!!

PlayStationは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です

今回もムービーを独占収録!!



『lain』の謎に迫る!

D8本誌でタイトル発表以来、各方面にさまざまな反響を呼んでいるパイオニアLDC期待の新作『lain』。とは言え、実際には謎に包まれた部分が多く、いまだにその全貌を現さない怪作でもある。そこで今回のD8では、新たに入手したオリジナルムービーと、独占情報をもとに、このソフトを総チェック!! いったい『lain』とはどんな作品なのか? 大胆予想をしてみることにする。

特別編集ムービーを見よ!

今回収録されているムービーは、D8のためだけに特別編集された超レア映像。途中に挿入されている映像は、基本的にゲーム本編にも使われるであろうシーンなので、これを見れば本作品の持つ独特な雰囲気を感じ取ることができるはず。これで『lain』に、また一歩近づけるはずだ。





▲▶新たな情報を得るヒントが詰まった今回のムービー。詳しい内容は下記を。

シリアル エクスペリメンツ レイン
serial experiments **lain**

秋予定 ETC	▶価格未定 ▶パイオニアLDC ▶MC(ブロック数未定)

MOVIE ムービー

レインの日常を感じ取ろう

まずは、今回収録したムービーから検証してみよう。基本舞台であるネットワーク上のレインと、そのバックに流れるビデオ映像。初めて明かされる、現実世界での玲音の姿だが……。



▲見かけない女性と話をする玲音。背格好からして同い年の友だちとは考えにくい。また、玲音の頭に包帯のようなモノが!?

▼カメラに向かって無邪気に笑う玲音。彼女は、思ったよりも子供っぽいしぐさを見せる。



DPS-Dはこう考える

現実世界の映像は、ロケーションから考えると、ホームビデオで撮影した成長記録のような物ではないだろうか? また、別のカットを見ると、固定カメラによる長時間撮影のようなシーンもあり、観察記録とも考えられる。ただ、この撮影者がプレイヤーとは思えないので、これらの映像を"覗き見"することになるのか?

キーワードは
記録された映像

INTERFACE インターフェイス
ゲームシステムに隠された謎



▲ナビゲーターとしてのレインは、実にさまざまなリアクションを見せてくれる。



▶目的のデータを指定するだけで、レインは自動的に回収。



▲プレイヤーの操作は単純？　かなり高性能なＯＳ（端末を動かす基本プログラム）らしい。

『lain』の舞台は、仮想のネットワーク。そこで、プレイヤーのナビゲーションをしてくれるのがレインである。物理的な座標のないネットワーク空間を移動し、浮くように点在するボール状のデータを拾い、再生していくことでさまざまな情報を引き出すことができる。そのシーンが、今回収録されたムービーのワンシーンであったりする。その辺の一連の作業を、レインが代わりに担ってくれるようだ。

DPS-Dはこう考える

１番の謎は、玲音＝レインなのかということ。見た目は同一人物だが、役割から考えてもネットワーク上の彼女は、なにかプログラム的な擬似映像？……、ビジュアル的なインターフェイスの一部であるとも考えられる。ならば、レインはなぜ玲音と同じ姿形なのか？　玲音がアイドル的存在で、それをモチーフにしたＯＳなどであれば納得もいくが……。

キーワードは
レイン≠玲音？

CHRACTAR VOICE 声優
同じ年の少女が演じるリアルな声

ゲーム中での玲音（レイン）の声を担当するのは、清水香里ちゃんという14歳の女子中学生。彼女は現在タレントとして精力的に活動中！　ドラマやＴＶＣＭにも出演しているので、見覚えのある人もいるのでは？　それにしても、ゲームのヒロイン役といえば、かなり大勢の声優さんたちが、オーディションを受けたはず。そんななか、素人ではないとはいえ、声優が本業ではない彼女が合格したのは、大抜擢といえよう。



◀▼香里ちゃんは目鼻立ちのハッキリとした美少女なのだ。



DPS-Dはこう考える

収録された音声を聞かさせてもらったところ、地とも演技とも付かぬ初々しい声……玲音としての声が耳に入ってきた。子供でも大人でもない、〝14歳〟という微妙な年頃。その時代を、リアルタイムで生きている彼女にしかできない演技が、この作品には必要なのだろうか？　香織ちゃんの力演に期待したい。

キーワードは
14歳、女子中学生

清水香里（しみずかおり）
as玲音（lain）

ANIMATION TVアニメ
ゲームとは異なる舞台設定に注目

『lain』のメディアミックス展開の一端として、７月６日よりＴＶアニメ『lain』がテレビ東京で放映（毎週月曜深夜25：15～25:45）される。

主人公、岩倉（いわくら）玲音は、中学２年生。何ごとに対してもあまり興味を示さない、どちらかというと内向的な性格である。ある日、そんな玲音のもとへ自殺したはずのクラスメート・千砂（ちさ）から電子メールが届く。それをきっかけに、玲音はネットワーク中の世界である「ワイアード」に足を踏み入れることになるが……。

というのが、第１話の内容。この夏、要チェックのＴＶアニメであることは間違いナシだ。

▶カワイイ動物の着ぐるみを着た玲音。ぼんやり見つめる先には何が？……





◀着ぐるみを着た玲音の見つめる先には、たくさんのパソコンが……。





▲制服姿の玲音。通学途中の風景だろうか？　こうして見る限り、どこにでもいそうな普通の女の子のようだが……。

◀第１話のあらすじを聞いただけでも面白さが伝わるよね。ゲーム発売の前に、ぜひ、ＴＶアニメもチェックしよう。

DPS-Dはこう考える

アニメ版では、現実世界の玲音にスポットを当てており、より彼女の日常の姿を見ることができそうだ。そして、あくまでも主役は玲音で、ゲームでのプレイヤーに相当する存在はいない。つまり『lain』は、アニメのゲーム化でもないし、ゲームのアニメ化でもない。互いのストーリーを知ることが、真実へのカギとなるだろう。

キーワードは
パラレルワールド？

結論
ネットワークが舞台のAVG？



これまで検証してきたことをまとめてみると、本作は、「レインというネットワーク上の謎の存在と、玲音との関係を暴き出すゲーム」ではないかと考える。この推測が正しいかどうかは、今後のＤ＆本誌で明らかになるだろう。真実を知るためにも、今後もＤ＆本誌の『lain』情報から目を離すな！